

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会 保育環境 WG
2026 年度「先進園等視察調査 in 三重」 & 「保育環境 WG」 参加会員
～不確実な社会を「生きる力」を育む観点から、地域の森林・里山等の価値・意義を検討・整理～
募集要項

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会

近年、変化が激しく不確実な社会を「生きる力」を育む「自然保育」への関心が高まっています。そして、子どもの主体性・創造性やレジリエンス力等をより育める保育環境の充実に向けて、地域の森林・里山等を「自然保育」のフィールドとして確保・整備等する取組も拡がりつつあります。

しかし、地域の森林・里山等の自然環境の活用・整備から、その実施体制・支援策等のあり方等の理論・方法論は、学際性もあるため十分に確立・整理されていません。さらに、分野横断的であるため、行政の支援策も限られる中で、幼児教育施設が新たな取組を着手しにくい場合が少なくありません。

そこで、日本自然保育学会 実践・研究推進委員会では、2023 年度から「保育環境の充実のあり方に関するワーキンググループ」（以下、「保育環境 WG」という。）を設置しました。第 1 期（2023～2025 年度）には、全国に先駆けて「信州型自然保育認定制度」を創設した長野県と連携した認定園の実態調査等を行い、保育環境として森林・里山等の整備・活用の特徴の論点整理等を行いました。

2026 年度からの第 2 期は、（1）多様な研究者・実践者・行政関係者等による先進園等視察（別添資料参照）を行いつつ、（2）第 1 期の長野県調査との比較等も見据えた広島県「ひろしま自然保育認証制度」認定園向けの実態調査、（3）第 1 期の長野県調査の追加分析・追跡調査、（4）事例集等や保育環境の充実のあり方の整理を見据えて各地の自然保育実践園の事例調査等を行う予定です。

森林・里山等の自然環境の整備・活用による保育環境の充実について、これまで実践・研究されておられる方も、これからの実践・研究にご関心のある方も、多くの皆さまのご参画をお待ちしております。

記

1. 対 象 日本自然保育学会 会員（入会予定の方を含む）

2. 内 容 **（1）先進園等視察調査 in 三重 ～5 タイプの先進園と養成校・協議会を視察・交流～**

〈日程〉2026 年 12 月 14 日（月）～16 日（水）

〈場所〉三重県いなべ市・菰野町・津市

〈共催〉みえ自然保育協議会

〈内容〉 三重県では 2015 年から野外体験保育、2023 年からは「みえ自然保育協議会」の設置を経て自然保育を推進しています。そして、行政支援や教職員、保護者・地域住民等の参加、里山保全団体等との連携による森林・里山等の整備等を通して、保育環境を充実する園が広がっています。

また、自然保育を特色としてアピールすることで地域外から園児や保育者を確保する園や、学生を確保する保育者養成校も生まれています。

今回は、みえ自然保育協議会と共催し、三重県内の多様なタイプの園を視察するとともに、協議会の中核を担う養成校や三重県やいなべ市等の多様な行政関係者を含めて意見交換の機会も設定することで、地域における自然保育の支援策のあり方を検討する機会も設定します。

(2)「保育環境 WG」への参画 ～連携した実態調査・事例調査を通した概念整理～

〈日程〉2026 年 11 月以降に、適宜 WG を開催します。(概要は以下参照)

〈場所〉先進園等視察調査以外は、基本はオンラインとなります

〈内容〉企画チームでは、以下の内容の実施を検討していますが、参加会員の希望を鑑みて、取組を検討します。

(1) 広島県「ひろしま自然保育認証制度」認定園向けの実態調査
(第 1 期の長野県調査との比較等も検討)

(2) 第 1 期の長野県調査の追加分析・追跡調査

(3) 各地の実践園の事例調査

※外部組織と連携した事例集整理も検討しています

(4) (1)～(3)を踏まえた保育環境の充実のあり方の論点整理

3. 行 程

以下のスケジュールで実施します。

2026 年 11 月中下旬	・ 2026 年度第 1 回ワーキンググループ
2026 年 12 月 14～16 日	・ 先進園等視察調査 (三重県いなべ市・菰野町・津市)
2026 年 12 月下旬頃	・ 2026 年度第 2 回ワーキンググループ
2026 年 12 月～	・ 担当別に調査を実施 (次年度にまたぐ取組も想定)
2027 年 2 月 6～7 日	・ 「日本自然保育学会第 11 回研究大会」で成果発表等
2027 年 2 月中下旬	・ 2026 年度第 3 回ワーキンググループ ・ 2026 年度のとりまとめ、次年度の計画の検討

3. 申 込

2026 年 11 月 7 日 (土) まで、以下のフォームによりご登録下さい。

《2026 年度「先進園等視察調査」「保育環境 WG」登録フォーム》

<https://forms.gle/ZeBbraD8jcmsUgUv5>



※但し、先進園等視察調査は、定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込み下さい。

4. 運 営

2026 年度の「保育環境WG」は、以下メンバーの協力を得て実施します。

〈世話人〉※日本自然保育学会 理事／実践・研究推進委員会 委員。企画チームを兼ねる

木俣 知大 ((一社)東京学芸大 Explayground 推進機構)

杉山 浩之 (ひろしま自然保育推進協議会)、下村 一彦 (名寄市立大学)

〈企画チーム〉

藤井 徳子 (神戸教育短期大学)、野本 綾野 (お茶の水女子大学 博士前期課程)、

才賀 美奈 (いっしょに子育て親育ち なないろのわ、みえ自然保育協議会)

5. 経費等

・「先進園等視察調査」の集合場所から調査先や、調査先間の移動経費 (高速代・燃料代・車代等) と調査先の謝金は、学会側で負担します。

・事例調査の旅費等は、各自でご手配ください。

6. 問合せ先

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会 2026 年「保育環境 WG」世話人
木俣 知大 (東京学芸大 Explayground 推進機構／日本自然保育学会 理事)
E-mail : tomohiro_kimata@yahoo.co.jp

別添資料**日本自然保育学会 実践・研究推進委員会 保育環境 WG****2026 年度先進園等視察調査 in 三重 開催概要****～5 タイプの先進園から保育者養成校、自然保育協議会を視察・交流～**

【主 催】 日本自然保育学会 実践・研究推進委員会 保育環境 WG

【共 催】 みえ自然保育協議会

【趣 旨】 近年、変化が激しく不確実な社会を「生きる力」を育む「自然保育」への関心が高まっていますが、より主体性・創造性・レジリエンス力等を育めるように、地域の森林・里山等の自然環境の整備・活用する取組が広がっています。そこで、その理論・方法論や実施体制・支援策等のあり方等に関する実践・研究を促進するため、先進園等視察調査を実施します。

本年は、行政の保育・林務部署や保育団体、保育者養成校、園等で構成される「みえ自然保育協議会」を設置する三重県において、行政支援、教職員・保護者・地域住民等の参加、里山保全団体との連携により森林・里山等を整備・活用する5つのタイプの先進園、自然保育のPR等で定員充足率9割を誇る保育者養成校等の視察・交流等を行います。

【日 程】 2026 年 12 月 14～16 日（月～水） ※部分参加も可（各日、鉄道駅近隣で集合・解散）

【場 所】 三重県いなべ市・菰野町・津市

【対 象】 日本自然保育学会・みえ自然保育協議会 会員 10 名

【参加費】 無料（移動費・食費・宿泊費等は、各自でご負担下さい。）

【集 合】 12 月 14 日（月）10:00 JR 関西本線「桑名」駅 ※自家用車の方は現地集合

【参考】 東京 7:48－のぞみ 13 号－名古屋 9:25、9:37－快速みえ－桑名 9:58

※最寄り駅から視察先・視察先間の移動は相乗りで移動。部分参加の場合は最寄り駅から乗降可

【解 散】 12 月 16 日（水）15:10 JR 関西本線「桑名」駅 ※自家用車の方は現地解散

【参考】 桑名 15:23－近鉄名古屋 15:43、名古屋 15:57－東京 17:33

【行 程】 以下で実施予定です。（視察先の詳細は、後述の【視察先】一覧をご覧ください。）

《1 日目（12 月 14 日（月）） 三重県いなべ市 ※部分参加も可

時間	行程・視察先	概要・留意点
10:00	JR 桑名駅集合、移動	※公共交通手段でお越しの方。相乗りで移動
10:45	【視察】「①-1.三里こども園」 (いなべ市社会福祉協議会)	里山等視察、概要紹介、意見交換 多様な遊び環境を求めて職員が里山を探索・整備
12:45	移動・昼食	昼食は各自持参
13:45	【視察】「①-2.ふじわらこども園」 (三重県いなべ市)	裏山・園庭等視察、概要紹介、意見交換 保護者参加型整備、子育て支援センターも利用
15:45	移動	
16:00	【視察・意見交換】「①-3.いなべ市 保育課・新産業創造課」	支援策等の紹介、意見交換 市役所が保育・森づくりの専門家を集落支援員として配置し、園派遣による保育環境の充実を支援
17:30	移動・宿泊施設チェックイン (AGEKI BASE HOTEL)	三岐鉄道北勢線「阿下喜(あげき)駅」より徒歩 3 分 おふろ cafe あげき温泉 付属施設。 コンテナの宿泊施設を主催者で予約済み
18:30	【交流会】(新上木食堂)	いなべ市関係者との交流会。6600 円（飲み放題）
20:30	入浴・二次会・宿泊	

《2日目（12月15日（火））三重県菰野町・津市

※部分参加も可

時間	行程・視察先	概要・留意点
7:30	朝食・出発	※公共交通機関の方は、三岐鉄道「阿下喜駅」集合
8:30	【視察】「②森の風こども園」 (三重県菰野町)	里山・田んぼ・園舎等視察、概要紹介、意見交換 三重県の自然保育先導園。保護者参加で里山整備
11:30	移動・昼食	昼食は各自持参（宿泊施設周辺で購入可能）
12:30	【視察】「③藤認定こども園」 (三重県津市)	「探検の森」等視察、概要紹介、意見交換 近隣山林を所有。PTA・おやじの会参加型で整備
15:00	移動	
15:15	【視察】「⑥高田短期大学」 (三重県津市/保育者養成校)	裏山等視察、自然保育授業内容紹介、意見交換 自然保育のPRで学生確保。定員充足率9割を維持
16:00	【意見交換】「⑦みえ自然保育協議会との情報交換会」 (三重県津市「高田短期大学」)	三重県保育・林務部署や中間支援団体による支援策の紹介、保育環境WGの取組紹介、意見交換 三重県保育・林務部署や保育関係団体、養成校、有識者等が参画し、相互を緩やかに繋ぐ協議会。
18:00	移動・チェックイン	宿泊施設は各自でご予約下さい。
18:30	【交流会】 (JR/近鉄「津」駅)	「みえ自然保育協議会」関係者との交流会 「風の蔵人」 (津駅徒歩1分/4,500円。飲み放題)
20:30	二次会・宿泊	

《3日目（12月16日（水））三重県津市・いなべ市

※部分参加も可

時間	行程・視察先	概要・留意点
8:00	出発	※公共交通機関の方は、JR/近鉄「津」駅集合
8:30	【視察】「④こどもの杜ゆたか園」 (三重県津市)	裏山・園庭等視察、概要紹介、意見交換 近隣山林を取得し、職員等による整備
11:00	移動・昼食	
12:00	【視察】「⑤いっしょに子育て親育ちなないろのわ／鍋坂里森保全の会」 (三重県いなべ市)	里山および自然保育実践の視察、鍋坂里森保全の会・林業関係者等を含めた取組紹介・意見交換 自然保育での活用を見据えて保全団体が里山整備
14:30	移動	※自家用車等の方は解散
15:10	JR 桑名駅解散	※公共交通手段でお越しの方。

【視察先】各視察先の特徴・概要は以下となります。

《Ⅰ》自然保育実践園

視察先	特徴
①いなべ市役所 (保育課/集落支援員・新産業創造課) 三里こども園 ふじわらこども園	【三重県内の先進自治体／全保育園で里山確保・整備・活用支援】 ➢ いなべ市保育課は、令和2年度から保育・森づくりの専門家を「集落支援員」として配置したり、森林所有者等との調整を行い、市内全10園における自然保育の推進やフィールド整備を支援（WGでの発表資料） ➢ 集落支援員の指導・支援のもと、「三里こども園」では当初は園近隣の竹林を設定したが遊びの多様性が限られるため、現在は昔の保育者の記憶を頼りに、離れた中学校裏の河童池周辺の里山を探索し、市役所の調整のもと、保育者等が整備。

	➤ 「ふじわらこども園」では、放置されていた裏山を3代前の園長が活用方針を策定し、2代前の園長の下で保育参加日等に保護者参加で整備。併設する子育て支援センターでも活用。
② 森の風こども園 (三重県菰野町)	【三重県の自然保育の先導園。保護者・地域参加で里山整備】 ➤ 地域の多様な里山をフィールドとしつつ、保護者や地域の森林NPO等とともに、拠点となる里山を整備。卒業記念で保護者会が東屋・散策路・看板の整備等も実施。 ➤ 在園児・卒園児向けの週末型の「森の風しぜん学校」も運営。 ➤ 三重県の支援策で、県内園への指導・助言等も多数実施。
③ 藤認定こども園 (三重県津市) ※参考/みえ自然保育協議会の視察まとめ	【PTA・おやじの会と連携した里山・ビオトープ整備】 ➤ 自分で選択できる環境を整える観点で近隣の里山を保有し、「探検の森」として整備・活用。 ➤ 園庭の「ビオトープ」を含めてPTAやおやじの会等が参画して整備も実施
④ こどもの杜ゆたか園 (三重県津市) ※参考/みえ自然保育協議会の視察まとめ	【子どもの主体性を育む為、近隣山林を所有して職員等で整備】 ➤ 子どもの主体性を育む保育への園方針のもと、第2の園庭として新たに裏山を法人で取得して、環境構成を充実。 ➤ 園児の遊びに合わせて職員等がきめ細やかに整備。遊びの連続性を担保し、試行錯誤ができる場となっている。 ➤ 2012年に新設したが、特色のPRで園児・保育者も確保。
⑤ いっしょに子育て親育ちないのわ (三重県いなべ市)	【自然保育で活用を見据えて保全部体が里山整備、保護者参加】 ➤ 放置された里山を、「なないろのわ」による自然保育等での活用を見据えて里山保全部「鍋坂里森保全の会」が里山整備 ➤ フィールド整備には、地域住民や保護者、企業等が参加

《Ⅱ》自然保育関係組織

視察先	特徴
⑥ 高田短期大学 (三重県津市)	【整備した裏山での自然保育をPR。9割の定員充足率を維持】 ➤ コロナ禍に高田短期大学の裏山を「たかたんフォレスト」として教職員等で整備し、自然保育の実習等の場を整備。 ➤ 「自然保育」をアピールする特設ページの開設や、オープンキャンパス等での自然保育の体験、県北の学生や環境・造園分野の高校生向けへのアピールで、9割の定員充足率を維持 ➤ 地域の園が遠足等で定期的に訪問し、学生の実習にも活用。
⑦ みえ自然保育協議会	【三重県保育・森林部署や保育関係団体、養成校、有識者等が参画し、相互の取組を繋ぎ、自然保育を普及する緩やかな枠組み】 ➤ 三重県(子どもの育ち支援課、林業研究所 普及・森林教育課)、みえ森づくりサポートセンター、保育関係団体、保育者養成校、自然保育実践園、有識者等が緩やかにネットワーク化して、自然保育の裾野の拡大や学び合いを相互に連携・協働。 ➤ 特に、協議会の構成員が三重県の各部署・組織の事業に携わる中で、多様な支援策と園を繋ぐことで自然保育の普及や深化を促しており、協議会がハブ機能を担う。

【問合先】 不明点・ご質問・ご要望等がございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

木俣 知大(日本自然保育学会 保育環境 WG 世話人) E-mail: tomohiro_kimata@yahoo.co.jp